

事業所名

子どもサポート教室「きらり」白金高輪校

支援プログラム（参考様式）

作成日

2025年

1月

18日

法人（事業所）理念		「誰にだって輝ける舞台がある」一人ひとりが「キラリ」と輝けるように“分かった”“できた”こんな経験を通して子どもたちの成長を見守りたい。					
支援方針		私たちは「その子」をしっかりと見つけ、「その子」の立場になって考え、「その子」の成長に喜びを感じます。そして、うれしい時もつらい時も、大人に寄り添われ、自分の思いを受け止めてもらえる中で、「その子」が「自分をかけがえのない存在」と思ってもらえるように努力いたします。					
営業時間		10時	00分	19時	00分	送迎実施の有無	なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活や自宅での様子を共有し、日常生活が本児らしく落ち着いた環境で過ごすことができるよう、指導員と一緒に考えながら支援します。 本児の身体に関するアセスメントをしっかりと把握し、活動中の表情や様子を常に観察して、本児からのその日の気分や健康状態の発信を促します。 発達に応じて、基本的な生活スキル（挨拶、衣服の着脱、トイレの使い方、事業所での時間の過ごし方）を獲得できるようサポートします。 適切な生活習慣や生活リズムが獲得できるよう支援します。 日常生活における時間やお金の管理・計画性などのマネジメントスキルが向上するように支援します。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> 着席して集中する時間とリラックスする時間を有効に使い、自身の心と身体をコントロールしながら活動を行えるように支援します。 姿勢保持と運動・動作の基本的技能の向上、動作の補助手段の活用を目指します。 目で見て指先を動かす目と手の協調を促し、無理なくできることから運筆や書字に取り組み、本児のできることが増えるようサポートします。 過敏や鈍麻など、本児の特性に合わせた配慮や環境設定を心がけます。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> 本児や保護者と相談し、本児が困難や苦手を感じることに指導員と一緒に取り組むことで、少しずつ自信につながるように支援します。 今日の予定を指導員と相談して決めて、見通しを持って過ごすことや気持ちを切り替えることを支援します。 本児の感覚を十分働かせながら、物の扱い方や仕組みなどの理解を促しているように支援します。 本児の認知の特性について一緒に理解を深めながら、認知の偏りへの気づきや適切な対応に結び付けていけるように支援します。 数量、形、大きさ、重さ、色、時計、上下左右などが習得できるように支援します。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> 指導員と言葉やものを通してやり取りをすることで、他者との円滑なコミュニケーションを学べる支援を行います。 本児が自分の気持ちを言葉や身体で表出し、自分の気持ちをコントロールできるよう促していきます。 本児の発達に合わせて、本児の言葉の理解や表出が豊かになるように支援します。 本児の発達に合わせて、本児の文字を読む力や書く力が向上するように支援します。 SSTなどを通して、場や状況に応じた適切なコミュニケーションが、本児のペースで少しずつできるように支援します。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> 学校生活や日常生活の中で起きる人間関係について、本児の考えと相手の意見を聞き、本児の行動に活かせるような機会を設けます。 本児ができたことを認めて、本児の経験が増えていくことで、本児の自己肯定感が少しでも高まるように支援します。 本児の生活の中で不安なことや疑問などを指導員に気軽に話し、不安なく落ち着いた気持ちで自分らしく生活を送ることができるようにサポートします。 本児が自身の感情や気持ちに関心を持ち、自己理解を深めながら安定した情緒で過ごすことができるよう支援します。 					
家族支援	事業所スタッフは直接的支援を、本部スタッフは間接的支援を全力で行います。問題が発生した場合は、現場で迅速に対応し、本部は丁寧にバックアップします。発達のプロとしての知識や経験を維持・向上させるため、日々研鑽と努力を怠りません。保護者に実際の支援場面を観察または参加いただいた上で、本児の特性や、特性を踏まえた関わり方等に関して相談援助を行います。	移行支援		登校する学校や移行する機関との具体的な対応を話し合い、互いの役割分担と協力関係の中で支援していきます。関係機関とは必要に応じて個別支援計画に基づいた具体的な活動内容の情報連携を行い、個別支援計画の見直しに生かします。			
地域支援・地域連携	地域の方からの信頼を得られるように、支援の質を向上させるように努力します。地域とつながりを持ち、情報共有や連携に努めます。各関係機関からの情報に基づき、具体的な場面での本児との関わり方の提案や、関わり方のポイントについて助言を行います。	職員の質の向上		法人・ブロックエリア・事業所内研修・外部研修の派遣など。療育・制度・5領域等に係る読み合わせ。他校舎見学・交流会など。			
主な行事等	特に無し。問い合わせがあれば、随時、1時間の無料体験を実施します。						